

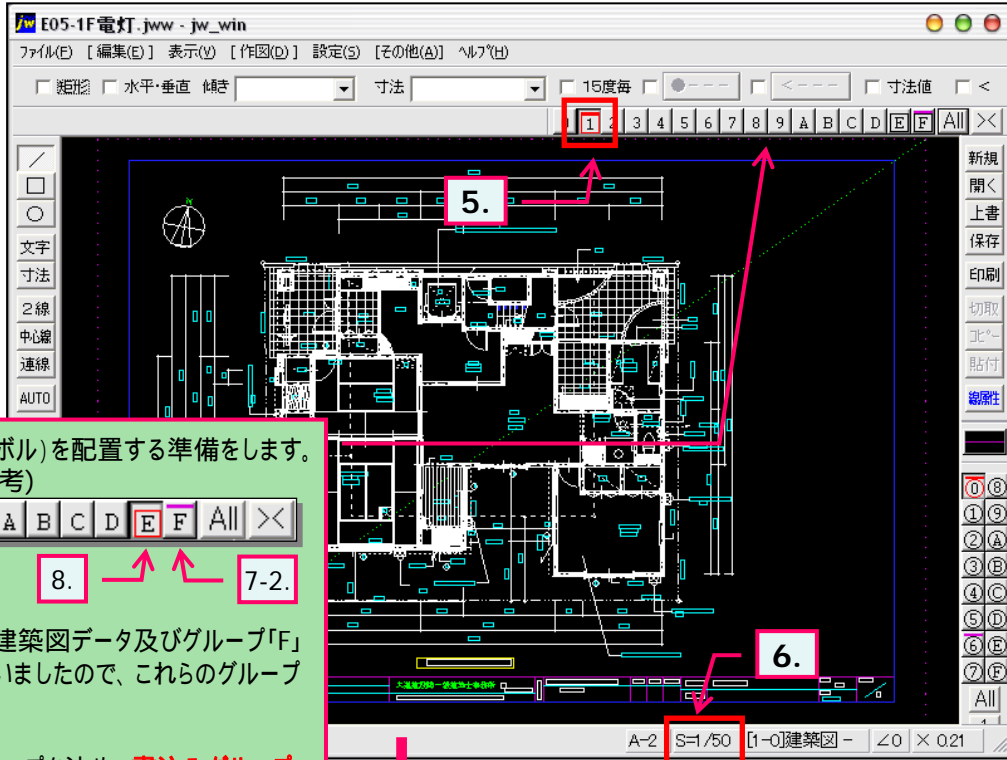
8-1(2). 図形の配置-1

前項の続き・・・既存データの把握と配置の準備

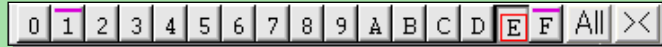
図形(シンボル)を配置する作業をしやすくするようデータの表示を変更していきます。

5. この図では「グループ1」に基本図面(建築図)が作図されていたので、このグループを書込みレイヤグループに変更します。

6. レイヤグループに設定してある縮尺が表示されていますので確認してください。(この図では1/50です。)



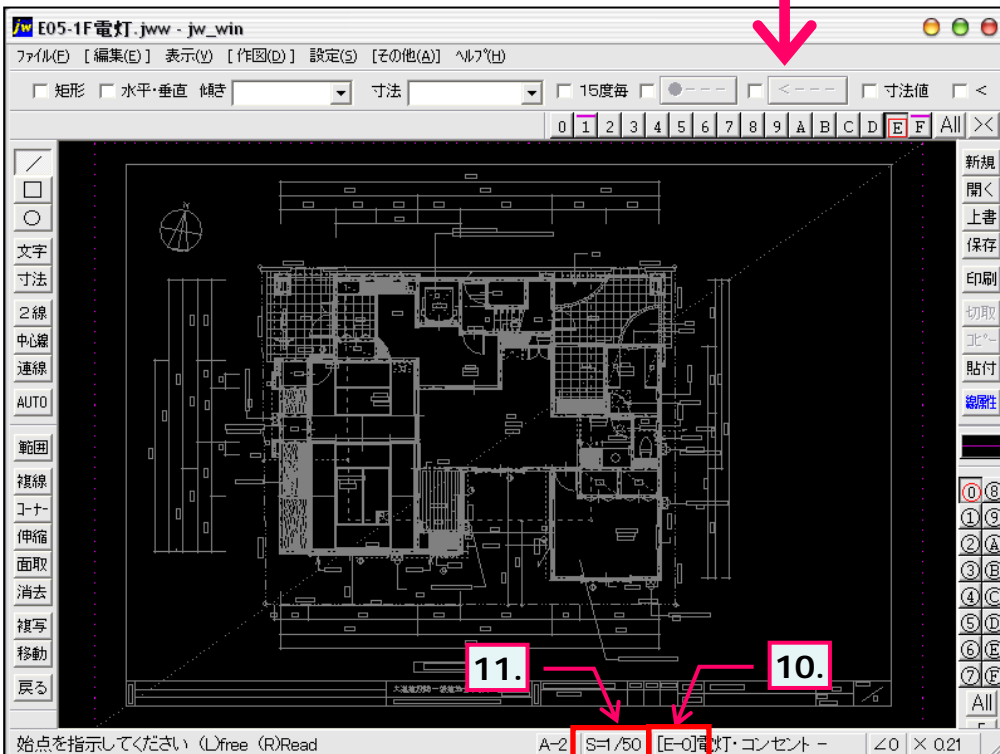
ここからは電気設備の図形(シンボル)を配置する準備をします。(表示参考)



7. この図面はレイヤグループ「1」に建築図データ及びグループ「F」に図面枠のデータが作図されていたので、これらのグループを**表示のみ**に設定します。

8. 電気図を作図していくレイヤグループを決め、**書込みグループ**へ変更します。(ここではグループ「E」を使用していきます。)ここで設定した各グループ番号は上図のように表示されます。

9.(レイヤグループ設定後)



9. 左図のように作図範囲のデータが「表示のみ」に変更されました。

10. 「8.」で設定した書込みレイヤグループ番号が表示されているのを確認してください。(ここではレイヤグループEの0番レイヤが「書込み」に設定されています。)

11. 基本図(建築図)が作図されているレイヤグループと違うグループへ作図していくので縮尺を揃えます。(ここではグループ「1」と同じ1/50の縮尺に設定します。)

💡 縮尺は1-5(3)、レイヤ・レイヤグループの表示・操作方法は1-5(4)、6-1で説明しています。